

急性大動脈解離 Stanford A に対する開窓型 Frozen Elephant Trunk 法

に関する臨床データの研究利用についてのお願い

研究の概要・背景

本研究は、当院で行われた急性大動脈解離の患者さんに対する手術方法について調査するものです。

急性大動脈解離は、命にかかわる重大な病気であり、速やかな外科的治療が必要となります。近年では、人工血管とステントグラフトを組み合わせた「Frozen Elephant Trunk (FET) 法」という手術が行われるようになってきました。

当院では、この FET 法を改良し、左鎖骨下動脈などの分枝血管を小口径のステントグラフトで再建する方法を取り入れています。本研究では、これらの治療を受けられた患者さんの経過を後ろ向きに調査し、手術の安全性や有効性を検討することを目的としています。

この研究は診療記録をもとに実施され、新たな検査や処置をお願いすることはありません。研究の成果は、心臓血管外科領域の診療向上や今後の治療成績改善に役立つことが期待されます。

試料・情報の利用目的・方法（他機関への提供を含む）

本研究では、当院で行われた手術や診療に関する記録を匿名化して利用します。具体的には、年齢・性別・病名・手術方法・経過・検査結果などの診療情報を集め、治療の成績や安全性を検討します。

収集した情報は、個人が特定されないように処理したうえで統計的に解析します。研究成果は、学会発表や医学雑誌などで公表される可能性があります。氏名や住所などの個人情報公表されることは一切ありません。

対象者・期間

本研究の対象は、2020年6月から2025年6月までに当院で急性大動脈解離に対する手術を受けられた患者さんです。

対象となるのは、診療記録が適切に残されており、研究の目的に必要な情報が収集できる患者さんです。なお、すでに退院された方や転院された方も含まれます。

データ利用のお願いと申し出について

これらの臨床データは通常の診療で記録されたもので、患者さんに新たな負担はありません。また、個人を特定できるような状態でデータを使用することはありません。本研究の目的と、臨床データ利用に関するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、本研究に関するさらなる説明をご希望の方、また、本研究において臨床データの利用を希望されない方は下記問い合わせ窓口にご連絡ください。研究不参加を申し出られたとしても、患者さんが不利益を受けることは一切ありません。

【お問い合わせ先】

長岡赤十字病院

担当医師： 佐藤哲彰(心臓血管外科)

〒940-2085 新潟県長岡市千秋 2-297-1

電話：0258-28-3600(代)、FAX：0258-28-9000(代)